

令和4年度 市川三郷町立市川東小学校 学校だより

やまほ

令和5年1月26日

No. 10

発行責任者 石川明子

学校教育目標

「ふるさとを愛し 心身ともにたくましいこどもの育成」



学校HP

行く1月 逃げる2月 去る3月
短い3学期を充実した時間に！

6年生の卒業式までのカウントダウンが始まりました

「卒業まであと〇日」



全校児童や保護者の方々にもお手伝いいただきながら、6年生へ向けたコメント入りの「卒業まであと〇日」の掲示が貼り出されています。

1枚ずつ教室内の黒板に掲示した後、廊下にていねいに張り出されています。6年生も寄せられたメッセージを繰り返し目にするすることで、これまでの小学校生活を振り返り、これから進む中学校での生活に思いをはせています。

6年生と一緒に遊ぶのも残りわずか 若草会企画「赤白縄跳びチャレンジ」

16日（月）～20日（金）の1週間、全校で縄跳びにチャレンジしました。日によって、長縄を続けて何回跳んだかを競ったり、個人の得意種目を披露したり、赤白で競争したりと種目を変えて楽しみました。



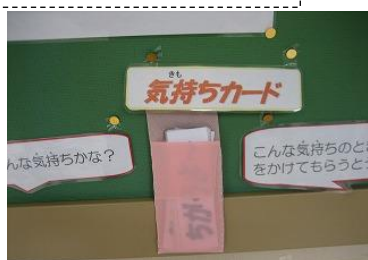
8の字跳びでは、みんなが上手に連続して跳べるようになればなるほど、回す先生方の息が上がっていました。どんどん上手になる東小の子ども達。すごい！！



「どんな気持ちかな」 保健室より



思っていることは体や顔に表れるもの。今自分は、どんな顔をしているかな。



たのしいとき、悲しいとき・・・どんなときも友達のちょっとした言葉がうれしく思えるものです。どんな言葉をかけてあげるといいかな。



養護教諭により毎回楽しく考える掲示が張り出されます。今回は、カードを利用した「気持ち」や「言葉がけ」に着目した掲示です。

「こころ」は見えません。見えないからこそ、自分の気持ちを相手に伝える力と想像する力が必要になります。もちろんそこには行き違いがあるかもしれません。しかし、色々な人とやりとりを繰り返しながら、人との関わりを覚え自分の心の状態を伝える力を養っていくのだと思います。

「見えないこころ」ですが、「見えるこころづかい」として行動を取れるようになっていくといいですね。

全校で行くスキー教室

1月13日（金）

今年は1年生がいませんが、東小学校では毎年全校でサンメドウズ清里にスキー教室へ行っています。当日は特にお天気が良く、ぽかぽか陽気の中、頂上に雪をかぶった遠くの八ヶ岳や富士山を望みながら気持ち良く滑ることができました。



1年生の時から滑っているのでみんなとても上手です。新しい滑り方もどんどんできるようになり、インストラクターの方がおっしゃった「子どもの吸収力はすごい。大人が同じようになるには何倍も時間がかかる」に納得です。スキー場名物のカレーもみんなぺろりでした。